

足利風 -ashikaga-fu

2021
12月号
Vol.77



水彩画：川島直人

足利市民活動センター

開館時間：平日 10:00～19:00

休館日：土・日・祝日・第3月曜日

〒326-0052

栃木県足利市相生町1-1

足利市生涯学習センター3F

TEL 0284 (44) 7311

FAX 0284 (44) 7312

Mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

*特集！

「捨ててこそ」

* TOPICS

「足利の歴史探訪 盛況！」

* 私のボランティアことはじめ

「福祉とは…ふつうに くら

すことのできる しあわせ

永島 徹」

* サークル紹介

「仏像大好き」

* INFORMATION

* 特集！ *

「捨ててこそ」

「魚を与えるよりも、魚の釣り方を教えること！」～これは、全国各地のボランティアを育てること、という使命のもと、東西南北を駆け巡っていた、日本のボランティア活動草創期に骨の髄まで叩き込まれた言葉である。

だが、昨今の子ども6人に1人が貧困そして“子ども食堂”・・・という時代に入り、多くのNPOなどは即物的な対応を迫られている。特に、コロナ禍（COVID-19）の時代になり、加速度的に貧困家庭が増えている。

郷土出身で感染症に詳しい、ジュネーブ在住の国井 修さんがこんなことを書いている～



～「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標3“全ての人に健康と福祉を”のターゲットの一つは“2030年までに、エイズ・結核・マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を終息させる”だ。ただし、この終息は社会的終息か疫学的終息か、制圧か排除か根絶か曖昧だ。・・・歴史が教えてくれるのは、どんな疫病でもいつかは「終わる」こと、疫学的終息でなくても社会的終息という意味では、人間の叡智・努力で「完全に終わらせる」ことは難しいが犠牲者を減らすことはできる・・・と。また、付け加えて～人類は自然・微生物から多大な恩恵を得て来た。しかし近年、人類は自然・地球の生態系に多大なダメージを与えている・・・感染症の「終わらせ方」を考えるとともに、地球上の生物との共存・地球環境を守ることを真剣に考える必要

がある。

コロナ禍の最中で起きている差別や格差拡大を思うとき、わが国にも、かつて、穢れや不浄と言われ差別されていた被差別民や障害者を伴って、全国遊行をしていた革命的な実践者がいたことを思い浮かべる～僧・一遍。“捨ててこそ”の念仏聖（ひじり）・空也上人からも多大な影響を受けた。瀬戸内寂聴さんも一遍を慕い、その言葉を胸に刻んでいる～“生ぜしも独りなり、死するも独りなり、されば住するも独りなり”。

(M生)

* TOPICS *

足利の歴史探訪 盛況！

7月14日（水）午後、足利市民活動センターで開催された相談室「足利の歴史探訪」は、坂上田村麻呂・平将門・藤原秀郷・八幡太郎義家の4人の歴史上の人物案内から始まり、藤姓足利氏へと話の輪はつながり、足利氏二代義兼の樺崎八幡宮にまで及んだ。“足利の歴史遺産に目を向けたい”という思いを持った方々の集まりだけあって格調高い話題に終始した。やがて話題は、伝統ある足利の文化遺産を整理展示し、市民や観光客に閲覧していただけるような一般展示型の施設を創る活動へと収斂していきました。



私のボランティアことはじめ

「福祉とは…ふつうに くらすことのできる しあわせ」

NPO法人 風の詩 認定社会福祉士 永島 徹

「福祉」と聞いて、みなさんは何をイメージしますか？施設や制度をイメージする人もいれば、ボランティアや助け合いをイメージする人もいるでしょう。「福祉=与えられるもの」と考える人もいるかもしれません。私は、「福祉とは、ふつうに暮らせるしあわせです」とお話ししてきました。



「福祉」のイメージは、時代とともに変化してきました。戦後まもなくの頃の福祉は、最低限の衣食住が満たされ、健康で、文化的な生活ができることと考えられてきました。やがて物や金銭的豊かさではなく、すべての人が、地域の中で役割や生きがいを持ち、安心して暮らせることというように、心の豊かさも含めた概念へと広がっていきます。そして、新型コロナという未曾有の災禍の中、福祉は、また新たな変化を求められていると考えます。これまで、当たり前だと思っていたのにできなくなってしまったこともたくさんあります。新型コロナが落ち着いても、元通りにならないことも少なくないでしょう。だからこそ、コロナ禍で私たちが戸惑いながらも積み重ねてきたことを無駄にせず、これからの暮らしに活かしていくことが重要だと考えます。

私が、仲間とともに「NPO 法人風の詩」を立ち上げ、地域で活動を始めてからまもなく20年になります。活動の中心であるデイサービスの様子も、この1年半で大きく変わりました。認知症の方には難しいと考えられてしまうマスクの着用も、どなたも嫌がることなく協力してくれています。来所後の検温・手洗いなども協力が得られ、コロナ禍以前と比べ、風邪などで休む方もかなり減りました。「私たちにできることはなんだってやるよ」を合い言葉にみなさんが前向きに取り組んでくれた結果です。

「福祉=ふつうに暮らせるしあわせ」は、与えられるものでなく、私たちが力を合わせて創り出すものです。できないことを嘆くのではなく、できること、これから必要なことをみんなで考えて取り組む、それがこれからの福祉につながると思います。

サークル紹介

★仏像大好き★

文星芸術大学大澤慶子准教授を講師として、仏像に関する基礎的な学習・調査研究を行うことを目的として作られたグループです。



「仏像についてもっと知りたい！」を原点とするメンバーが、いろいろな切り口から仏像に関する学習を行っています。また、展示会や寺社などを訪問し、実際の仏像を見学しながらの研修会も行っています。興味がある方はご連絡ください。

連絡先 小林一行 090-8649-5424 snkk2008@02.watv.ne.jp

* INFORMATION *

(※コロナ感染対策により内容が変更・中止になる場合があります。)



MERRY CHRISTMAS & A HAPPY NEW YEAR!

本年は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症のパンデミック（世界的疫病流行）の影響で、プログラムの変更等により、利用者の皆さまにご迷惑をおかけいたしました。申し訳ありませんでした。来たる新年2022年は、国連のSDGs目標達成等に協力しながら、ボランティア・NPO活動の原点である“自発性”“利他心”を念頭におき、“協働”の実をあげるべく努力して参ります。皆さまの尚一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

足利市民活動センター長 鈴木光尚（NPO法人足利の風理事長）



☆年末年始休館日のお知らせ

12月29日～1月3日は休館日となります（12月28日は17時まで）

☆「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

★令和3年12月17日（金） 14:00～16:00

* 本 : 「栃木の近代化遺産を歩く」(随想舎)

* 案内人 : 北村 隆 さん

★令和4年 1月21日（金） 14:00～16:00

* 本 : 「プリンシプルのない日本」(白洲次郎)

* 案内人 : 川田 秀幸 さん

■参加費 : 無料

■会 場/問い合わせ : 足利市民活動センター ☎44-7311

☆企画展(交流コーナー)

* 令和3年11月22日（月）～12月 2日（木） 伝えたい足利の職人技展

* 令和3年12月 6日（月）～12月23日（木） 田中正造と共生展

* 令和4年 1月 4日（火）～ 1月13日（木） 新春能面展

* 令和4年 1月18日（火）～ 1月27日（木） 壺の魅力展

* 令和4年 1月31日（月）～ 2月10日（木） 足利・銘仙と古写真展

※展示時間・・・10:00～19:00 ただし最終日は15:00まで
(土・日・祝日・12/20は休館日)

☆相談室&講座

* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 14:00～16:00

* 講 座 = 毎月1回

※詳しくは、別紙参照

編集後記

今年もあっという間に時が過ぎ、12月になりました。なんとなく今までの日常に戻れそうなそうでもないような曖昧な1年を感じました。まだまだ油断は禁物ですが、来年こそはどこかにお出掛けしたいですね。皆様にとっても良い1年になりますように。
(すずうさぎ)